

## 「ibet for Finコンソーシアム」への参加について

みずほ信託銀行株式会社(取締役社長:梅田 圭、以下、当行)は、この度、ブロックチェーン技術を用いて発行等が行われる有価証券「セキュリティ・トークン(※1)」を取り扱うためのブロックチェーンネットワークを運営する「ibet for Finコンソーシアム(※2)」(以下、本コンソーシアム)に、信託銀行として初めて参加しました。

(※1)セキュリティ・トークン

ブロックチェーン等の分散型台帳技術(DLT)を利用して発行・管理されるデジタル化証券。

(※2)本コンソーシアムは、株式会社BOOSTRY(代表取締役社長:佐々木 俊典)が2021年4月1日に立ち上げたブロックチェーンネットワークの運営を通じて、分散型金融の基盤として発展することを目指しています。

セキュリティ・トークンには、ブロックチェーン技術の特徴を活かした有価証券取引の簡素化や発行体のコスト低減、投資金額の小口化に加えて、単一不動産を裏付とした受益証券発行信託に代表されるような新しい商品の組成や、取引のデジタル化による新しい取引形態の実現が期待されています。

当行は、セキュリティ・トークンを活用した資金調達手法を提供するセキュリティ・トークン・オファリング(STO)市場の発展に向け、信託銀行としての不動産および証券化商品等に関わる知見を活かし、当該分野における各種資産を裏付けとするセキュリティ・トークンの発行・管理等にかかる商品・サービスの開発を推進します。

当行は、不動産・金銭債権のほか、環境価値やオルタナティブアセットに関連したセキュリティ・トークン分野での多様なソリューションの開発・提供を通じて、資金調達手法の多様化、投資商品のバリエーション拡大に貢献し、金融の枠を超えた新たな価値の創造の実現に取り組んでいきます。

以上